



大和会だより

大和会の理念

「生命の尊厳と人間愛」

運営方針

1. 私たちは、利用者さまの権利を尊重し、誇りと責任を持って「利用される方がたのために」を心がけます。
2. 私たちは、急性期医療から在宅介護まで一貫して、常に温かく、質の高いサービスをめざします。
3. 私たちは、保健・医療・福祉水準の工場のため、専門知識の修得や技術の研鑽につとめます。

患者さまの権利と責任

1. 公正な医療を受けることができます
2. プライバシーが尊重されます
3. 医師による説明を受け医療行為を選択することができます
4. 医療の内容を知ることができます
5. 病院の提供するサービスに意見を述べるすることができます

29

2003(平成15)年
9月20日発行

電子カルテシステムを導入します

東大和病院では、平成15年11月より電子カルテシステムを導入する予定です。今回は、電子カルテとは何か、なぜ導入するのか、どんな利点があるのか紹介したいと思います。



紙カルテと現在のシステム

電子カルテシステムをお話する前に、皆さまはカルテには何が書かれているのかご存知ですか。

カルテには

- 医師が患者さまとお話をして得た情報
- 病気の症状や、傷の程度などの情報
- どんな検査をしたかの情報
- どんな処置や手術をしたかの情報
- どんなお薬を投与したかなどの情報
- 病名などの情報

が紙に書かれています。

カルテは医師が診察ごとに記載し、たとえ患者さまの病気やケガが治っても、5年間も保存しなければなりません。

1患者1カルテですので、そのカルテの数は、大きな病院になるほど大量になり、多くの医療機関が保管スペースに頭を痛めています。



しかし、近年さまざまな情報が電子媒体に保存することが可能となり、コンピュータが医療機関へも普及し始めました。これが電子カルテの始まりとも言えるでしょう。

医療機関での初めてのコンピュータ化は、「医事会計システム」で、これは事務職員がカルテの記載内容を見ながら医療行為をコンピュータに入力し領収書を発行するシステムで、患者さまの会計待ち時間の減少と、レセプトの電算化をもたらしました。その後、医師が診察中に情報をコンピュータ入力する「オーダリングシステム」へと移行し、当院でも平成10年から導入しました。

皆さまも診察時に医師の横にあるコンピュータを目にしたことがあると思います。オーダリングシステムとは、患者さまが以前にどの科にかかったか、どんな検査をしたのか、お薬は何を服用されているのかなどの情報が各診察室で見られ、かつオーダーすることができるシステムをいいます。これによって患者

さまの診療待ち時間の短縮や、カルテを出すことなく検査結果などを見ることが可能になりました。

電子カルテシステムって何ですか？

さらに当院は、今年の11月にオーダリングシステムから電子カルテシステムへとステップアップを予定しています。

電子カルテシステムとは、患者さまのすべての診療情報（カルテ）をパソコンに記録し、そのデータを保存管理・運用することです。



つまり、現在当院にある「医事会計システム」や「オーダリングシステム」をはじめ、検査や病棟管理、給食にいたるまでのあらゆるシステムを1つに結び、データの共有を図ることができるのです。

現在、ほとんどの医療機関では、患者さまの診療情報や看護記録は、紙のカルテに手書きで書かれています。しかし紙カルテには、

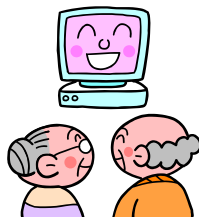
- 紙の劣化
- 保存スペースが必要
- 情報を共有する際にわざわざ転記する必要がある
- カルテをいつでもどこでも見ることができない

といった都合の悪さや不便さがあります。

また、患者さまもご自分のカルテを見る機会があっても、書いてあることが専門的でわかりにくかったりしたのではないのでしょうか。

それに対し電子カルテは、

- 劣化がない
- 保存スペースが不要
- 院内に設置した端末で検索・閲覧もできる



カルテの内容がすべての人にわかりやすく解読できる といった利点があります。

そしてなによりも一番の変化は、診察中に自分自身のカルテを医師と一緒に見ることができることです。

また、今後は患者さまのカルテを平成17年6月開院予定の武蔵村山病院と共有することが可能で、近隣の医療機関との連携にも力を発揮する予定です。

電子カルテに不安はありますか

しかし、電子カルテに不安をもたれる方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。

例えば、「自分のカルテが簡単に他の人に見られてしまうのではないか？」、「簡単にカルテ改ざんができてしまうのではないか？」、「電子カルテシステムは壊れたり、データが無くなったりしないのか？」などです。

でもご心配なく。当院の電子カルテシステムは他人に見られないように、パスワードなどで管理を徹底するようになっています。

また、カルテ改ざんについても、すべての操作や、あらゆる指示に医師名・日時・入力した端末機名が正確に



記録されます。例えば端末画面を開くだけでも、操作を開始した登録者の名前が記録されますし、修正を行っても修正前後すべての記録は残り、ここでも医師名・日時・入力した端末機名の記録、修正した執行者の履歴が残る。というシステムなので、時折医療事故等の報道で、とりだされるカルテ改ざんもできません。

ご説明のように、11月以降は、電子カルテ導入により診察の流れも若干変化します。各診察窓口でも受付が行われるようになります。くわしい診察の流れは次号でご紹介しますのでご安心ください。



8

しんじょう 新城医院

ながあき
新城 長昭先生

(整形外科 外科 眼科 肛門科
リウマチ科 皮膚科 リハビリテーション科)
- 東大和市 -



新城長昭院長は沖縄県石垣島の出身。昭和34年金沢大学医学部を卒業後、国費留学生の義務として郷里の保健所に3年半勤め、その後上京して、昭和50年現在地に開業された。

「芋畑の真中に19床の医院を造り、1人なのに救急指定を取り、文字通り365日年中無休の診療を開始しました」と事も無げに言われるが、この体制は今も変わることがない。

新城医院は、平成12年に長男の貴寿^{たかひさ}先生も診療に携わることになったのを機に、大改築を行った。

ベッド数を減らし、代わりにお年寄りや体の不自由な方々が楽に移動できるよう、バリアフリーを徹底した。また、若い人の意見を取り入れ、どことなく消毒液の匂いが漂う従来の病院のイメージを払拭するために、フローリングを多用するなど、木の温もりが伝わるよう工夫したという。当初は中華レストランや喫茶店と勘違いして、入って来る人がいたというのもうなずけるほどのお洒落な雰囲気である。

「もちろん医療の質の向上にも努めています。患者さんに満足していただくために、ご意見箱を設置したり、全職員が集まってミーティングを行ったりと、常にプロとしての自覚を持つよう心がけています」と貴寿副院長。

その貴寿先生の現在の悩みは、趣味に使う時間がないことだそうだ。好奇心が旺盛で、最近では造形美術に興味を持ち、何とか時間を作って美大の通信教育課程に入学したいと考えておられるとのことである。

長昭院長は、次男の邦裕^{くにひろ}先生も非常勤で診療を手伝ってくれるようになったので、「後は息子たちに任せて、のんびり旅行でも楽しみたいですな」と笑った。

医院の左手に手入れの行き届いた庭園があり、患者さんたちの憩いの場となっている。残暑が厳しいのにそこだけひんやりとしている。木洩れ日を受けた池では、母親に抱かれた幼子が小さな手で魚と戯れていた。



東大和市上北台
3-4-46-15
042-565-3161



年報第2号ができました

大和会年報第2号が7月30日に完成しました。閲覧用の見本誌を施設内各所のマガジンラックに用意いたしましたので、ご覧ください。なお、購読希望者には無料で差し上げておりますので、1階総合受付案内までお越し下さい。



臨床研修医指定病院になりました

当院は8月より臨床研修医指定病院に認可されました。それに伴い、医師免許既得者又は来年度免許取得見込み者に対して、医学的知識・技能の習得を目指し、人間性豊かな臨床医を育成することを目的とし、初期臨床研修医を募集致しました。採用後は当院にて2年間の研修を行います。



納涼祭が開かれました

8月16日 老健多目的ホールにて、納涼祭が行われました。ところてん、おしるこ、ヨーヨー釣りなど出店し、ボランティアさんによる盆踊り大会が行われました。職員も浴衣姿で雰囲気盛り上げ、つかの間の夏を満喫しました。また、来年も皆さまと一緒に納涼祭を迎えられますように。



オリコン調査で東大和病院脳神経外科がランクイン

8月29日発売されたオリコンメディカル出版の「患者が決めたいい病院」に当院の脳神経外科が26位に選ばれました。オリコン側が、東京、神奈川、埼玉、千葉の医療機関を利用した患者9万人を対象にアンケートを敢行した結果の快挙でした。



トリアージ訓練講習会が開かれました

国立病院東京災害医療センター副救命救急センター長の本間 正人先生を講師にお招きして、9月4日(木)7F会議室にて行われました。トリアージの本来の意味は、フランス語のTrier(選り分ける)から発しており、繊維商人が羊毛の品質をいくつかのクラスに分別する際に用いられた言葉です。

災害時には、多くの方が医療機関での治療が必要となります。ところが医療機関のスタッフや器材、医薬品には限界があり、災害時に1人でも多くの傷病者に最善の治療を行うためには、緊急度や重症度によって治療や後方搬送の優先順位を決めることが必要となります。つまり、トリアージの目的は、「ケガや病気の緊急度や重症度を迅速かつ正確に判断して、治療や後方搬送の優先順位を決める」ことにあります。

トリアージの方法は、傷病の緊急度や重症度に応じて、4段階に色分類します。第1順位の赤は、緊急を要する最優先治療群。第2順位の黄は、多少治療が遅れても問題ない待機的治療群。第3順位の緑は、ほとんど治療の



必要ない保留群。そして最後の第4位は死亡群の黒です。この傷病度の区分が終了すると「トリアージ・タグ」という紙の識別表に必要な事項と色の決定を行い、患者さまの体に取り付けて終了します。

災害時に、当院でも多くの傷病者に最善の治療が行えるよう、大勢の職員が講習会に参加しました。

東大和病院救急センターが表彰される

9月8日(月)北多摩西部消防署より、9月7日から9月17日までの「救急医療週間」と9月9日の「救急の日」にちなみ、日頃より救急行政に協力しているとして当院に感謝状が贈呈されました。



第1回村山・大和・小平ALS療養連絡会開催

9月8日(月)2F会議室にて行われました。

ALSとは「筋萎縮性側索硬化症」といい、原因も治療方法も未だ明らかになっていない難病です。発症率は10万人に3～4人で、発症年齢は50歳代が多く、症状として上肢や下肢の筋力低下がみられ、次第に歩行、寝返りなどが不自由になります。やがて言語や嚥下障害を伴い、呼吸器の装着が必要となります。しかし、このような重い病気にもかかわらず、国や行政の理解は十分とは言えず、医療機関の専用病床も不足しています。

当院の神経内科の佐藤猛医師は、長年この疾病の研究をされており、近隣地域にもALSの患者さまが多数おられることを考え、当院に療養相談の窓口を設け、少しでも療養の役に立ちたいとの趣旨から連絡会を開催することにしました。

当日は患者さまやご家族が9名、訪問看護ステーションと病棟の看護師等20名以上が出席しました。また、患者さまやご家族の心強い相談相手として活躍されている日本ALS協会千葉県支部事務局長の川上純子さんと、同じく東京都支部事務局長の吉本佳預子さんにもご参加いただきました。お二人ともご主人をALSで亡くされたつらい経験があり、現在も病気と闘っている方々の力になりたいと、ボランティア活動を続けておられます。出席された方々は、互いの病状や悩みを報告し合い、協会のお二人はその都度、丁寧にアドバイスされていました。

最後に佐藤猛医師から最新の治療状況を踏まえ、『患者とその家族だけが病気に悩むのではなく、病気の進行と病状に応じた療養対策を、多くの療養支援チームや医療機関と協力し励ましあっていきたい。そのためにこの療養連絡会がお役に立てれば幸いです』との言葉があり、閉会しました。

この件につき、お問い合わせ等がございましたら下記までご連絡下さい。

東大和病院事務局 医療相談室 大河原万佐代

042-562-1411

日本ALS協会東京都支部 事務局長 吉本佳預子

〒162-0837 東京都新宿区納戸町7-103

& Fax 03-3267-7020

E-mail als-tokyo@nifty.com

URL <http://als-tokyo.com>

日本ALS協会千葉県支部 事務局長 川上純子

〒237-031 千葉県船橋市馬込町774-23

047-439-8561

Fax 047-438-3256

E-mail jalsa@jade.dti.ne.jp

URL <http://www.jade.dti.ne.jp/~jalsa>



栄養一口メモ

旬の食材：トマト・しいたけ

トマトの効能：「トマト」の赤い色は、リコピンというカロチンによるもので、抗酸化作用があり、発ガンを抑制する働きがあります。



さらに、フラボン（ビタミンP）という成分が毛細血管を強くして動脈硬化予防にも役立ちます。

食べ方：「リコピン」という成分は加熱しても損失することがないうえ、油脂を使うとさらに吸収率が高まります。「トマト」は95%が水分ですから煮つめてソースにすると、「トマト」の成分が濃縮されて効率よくとることができます。

しいたけの効能：「エリタデニン」という「しいたけ」特有の成分が、コレステロールを血管にはりつかせないようにします。



また、きのこ特有の グルカンという多糖類には抗がん作用があります。

食べ方：生しいたけの裏側を20分ほど日光に当てると、ビタミンD量が約10倍になります。干しいたけも日光に当てて、カルシウム吸収率をアップしましょう！

(栄養科 管理栄養士:宮野 励子)

なぜなぜ コーナー

今回のテーマは『いま、なんじ?』です。

(時計をみてもわからないぞ) [解答はP7に]

1. 消防車が走っていくのは、なんじ?
2. 学校の先生に呼ばれて出てくるのは、なんじ?
3. おやつが3じなら、あさごはんは、なんじ?
4. 正午はなんじ?
5. ここいちばんでがんばる人は、何分で出てくるだろうか?
6. 救急車で患者を運ぶのにかかる時間は、どのくらいだろうか?



お知らせ

ケアセンターではボランティアさんを募集しています

- A 生活支援 : シーツ交換・入浴後のドライヤーかけ・お話し相手など
- B 趣味活動 : 絵手紙・生け花・書道など
- C 行事・レクリエーション : 歌・楽器演奏・手芸など

募集しています



詳しい内容については、下記の担当までお問い合わせください。

ケアセンター ボランティア担当 えちぜん すど 越前・洲戸

電話(042) - 566 - 6631 内線(2812)もしくは(2803)

公開医学講座のご案内

第60回	「糖尿病の足の手入れについて」(10/4・土)	糖尿病看護認定看護師 小柳 貴子
第61回	「小児の発熱について」(11/6・土)	小児科 医師 宮澤 廣文
第62回	「気管支喘息について」(12/6・土)	呼吸器科 医師 寺尾 一郎

(予約不要・参加費無料・会場:東大和ケアセンター2F 会議室)

大和会モニターを募集いたします

大和会では、皆さまに快適で安心してご利用いただける保健・医療・福祉の施設をめざして、幅広く利用者さまのご意見をお聞きするために「大和会モニター制度」の導入を考えています。大和会に対する自由で清新なご意見・ご提案をお寄せください。いただいたご意見・ご提案に対しては速やかに対応、改善に努めてまいります。

モニター希望の方は、

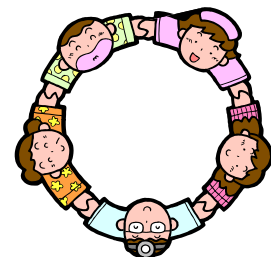
〒207-0014 東京都東大和市南街1 - 13

東大和病院・庶務課広報企画室(堀江・板倉)

電話(042)562 - 1411 FAX(042)562 - 1399

までお問い合わせください。

なお、モニターとしての謝礼、特典はございません。



介護保険が始まって、はや4年目。「リハビリ」という言葉を聞くのは初めて、という人にはあまり出会わない世の中になりました。でも本当の意味を知っている人はどのくらいいるのでしょうか。

「リハビリ」と省略されることが多いですが、「リハビリテーション(Rehabilitation)」は、もともと医学用語ではありません。また単純に「元に戻すこと」という意味でもありません。中世ラテン語に由来します。

失った財産や名誉の回復

良好な状態に戻す

ことなどがもともとの意味です。それが現在、医療界では、

「治療や訓練によって身体的・精神的に健康な状態に回復すること」の意味で使われています。

では、この身体的・精神的に健康な状態とはどういうことでしょうか。リハビリをすれば80歳の方にふたたび青春時代の体力を取り戻していただいたり、病気のために一度切断した手足を生やしたりすることができるのでしょうか。そうではないことは、おわかりになりますね。

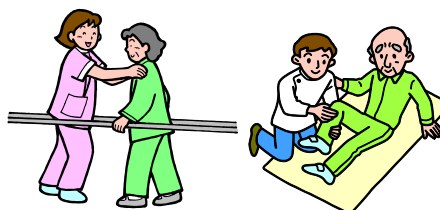
リハビリでは、「筋力が弱い」・「膝が曲がらない」といった機能低下を可能な限り最大限に回復させる取り組みをします。

しかし、それらを改善するのが難しい場合には「別の強い筋肉を使う動作方法や、杖などの道具を使えば階段が昇れる」や、「膝を曲げなくて済むように座り方やいすを工夫する」といった価値の転換を提案するのも、その役割だと考えています。

つまり「リハビリしましょう」ということばには、「失ったものを嘆き続けるのはちょっと中断して、今の状態にみあった健康を目標にしましょう。そしてあなたらしさを取り戻し、自分自身の名誉回復と一緒に取り組みましょう」というメッセージが含まれているのです。

これから何回かにわたってリハビリに関する豆知識をご紹介しますことになったのですが、以上のような理由で、筋力トレーニングの方法や動作のコツについての話のほかにも、杖や福祉用具のご案内などもリハビリ知識に含まれることをご承知ください。

(リハビリテーション科：荒井 敦子)



編集後記

広報は庶務課に属し、その活動は多岐にわたります。大和会の環境整備に始まり、掲示物の制作、そしてこの広報誌の隔月発行も重要な役割のひとつです。環境整備の一環として設置している「ご意見箱」の回収も広報が担当しています。月平均二十数件が寄せられます。苦情、提言、励まし等さまざまですが、投書される方の労力や情熱を想うと、氷山の一角の感がして身の引き締まる思いがします。対応は毎月、管理責任者全員が出席する「患者サービスクomitee」で検討、即改善に努めるようしています。以前は施設設備に関するものが多かったのですが、最近は職員のマナー、接遇サービスクomiteeなどへの要望が多く、頭を悩ませている次第です。たまたいまも、「接遇委員会」のメンバーが、大和会の接遇を考えるための「接遇キックオフ大会」開催にむけてのポスター依頼にきたところです。

また、接遇サービスクomitee向上のために、「モニター制度」の導入も検討しています。ご協力していただける方は、ぜひお問い合わせください。

(広報)

編集・発行 特定医療法人財団大和会 (院外広報誌 隔月発行)

〒207-0014 東京都東大和市南街1-13-12 TEL 042-562-1411 FAX 042-562-1399

ホームページ <http://www.yamatokai.or.jp>